

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社やまや

コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

(氏名) 山内 英靖

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長

(氏名) 久野 朋美

TEL 022-742-3115

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	26,158	39.0	342	79.8	339	76.8	156	114.4
21年3月期第1四半期	18,817	—	190	—	192	—	73	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	15.92	—
21年3月期第1四半期	7.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	36,290	15,224	42.0	1,543.78
21年3月期	34,224	15,197	44.4	1,541.12

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 15,224百万円 21年3月期 15,197百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	16.00	16.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	53,500	35.7	550	32.7	500	25.1	220	50.3	22.31
連結累計期間	107,000	20.9	1,500	13.9	1,400	10.1	650	7.5	65.91

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	9,861,700株	21年3月期	9,861,700株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	169株	21年3月期	169株
-----------	-------------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	9,861,531株	21年3月期第1四半期	9,861,611株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月8日発表の通期連結業績予想を修正しておりません。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の我が国経済は、景気の悪化に下げ止まり感が出ているものの、昨年秋の世界的な金融市場混乱の影響が継続し、企業収益や設備投資の減少、雇用情勢の悪化など、依然として先行き不透明な状況です。

当社は、厳しい経営環境に適応し、「お客様第一主義」を継続するため、引き続き、トータルコストの削減を図り、環境適応力の強化を進めてまいりました。

5月1日、当社100%出資の子会社であるスピード株式会社は、株式会社スピードより、食品ディスカウント事業とバラエティストア事業を吸収分割によって、事業承継いたしました。

スピード&ダイソーの複合店19店（大阪府12店、兵庫県3店、滋賀県1店、京都府1店、千葉県2店）、及び、スピード2店（大阪府）の合計21店舗の営業を引き継いだことにより、やまやグループの連結売上高は、1,000億円を超える見通しです。

商品面では、お客様の低価格志向が続く中、新ジャンルPB「ぐぐっと生」、「ぐぐっと生、黒」に加え、「ぐぐっと生、糖質OFF」を1缶85円（消費税込）で新発売するなど、「より良い物をより安く」の方針を実践した結果、既存店のご来店客数を増加させることができました。

店舗面では、既存店の活性化を図るため、石巻店（宮城県）、南柏店（千葉県）、三芳店（埼玉県）、道玄坂店、青山一丁目店、麴町店、亀戸店（東京都）、楽市豊中西泉丘店、楽市吹田千里丘店（大阪府）、楽市三田ウッドタウン店、楽市芦屋店（兵庫県）の11店舗を改装いたしました。

新規出店は多賀城店（宮城県）、水戸業務店（茨城県）の2店舗で、小山店、旧多賀城店の2店舗を閉店いたしました。

当社グループの当第1四半期末における総店舗数は、253店舗（前期末比21店舗増）となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高は261億58百万円（前年同期比139.0%）、営業利益は3億42百万円（前年同期比179.8%）、経常利益は3億39百万円（前年同期比176.8%）、四半期純利益は1億56百万円（前年同期比214.4%）の増収増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末と比べて20億65百万円（6.0%）増加し、362億90百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が2億22百万円減少し、商品及び製品が14億45百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて13億63百万円（8.5%）増加し、173億51百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて7億1百万円（3.8%）増加し、189億38百万円となりました。

総負債は、前連結会計年度末と比べて20億39百万円（10.7%）増加し、210億66百万円となりました。

流動負債は、買掛金で16億33百万円増加し、短期借入金で6億円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて17億81百万円（11.6%）増加し、171億12百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて2億57百万円（7.0%）増加し、39億53百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて26百万円（0.2%）増加し、152億24百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の44.4%から42.0%となりました。

（連結キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比べて2億22百万円減少し、31億44百万円となりました。

営業活動で得られた資金は、前年同四半期と比べて99百万円（△10.2%）減少し、8億76百万円となりました。これは主に、減価償却費が3億6百万円、仕入債務が16億33百万円増加、たな卸資産が7億46百万円増加したことなどによるものであります。

投資活動に使用した資金は、前年同四半期と比べて11億40百万円（2,285.0%）増加し、11億89百万円となりました。これは主に、株式会社スピードより21店舗の酒類等小売事業譲受のための支出に9億20百万円、有形固定資産の取得に2億84百万円を支出したことなどによるものであります。

財務活動で得られた資金は、前年同四半期と比べて51百万円（130.4%）増加し、90百万円となりました。これは、長期借入金の返済に3億52百万円と配当金の支払に1億57百万円を支出したものの、短期借入金で6億円計上したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月8日の決算短信にて発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,144,192	3,366,746
売掛金	1,082,366	1,023,270
商品及び製品	11,248,181	9,802,509
仕掛品	60,290	56,426
原材料及び貯蔵品	14,311	17,182
前払費用	333,643	315,604
繰延税金資産	156,847	260,378
その他	1,312,132	1,146,968
貸倒引当金	—	△368
流動資産合計	17,351,964	15,988,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,739,908	14,400,448
減価償却累計額	△7,694,160	△7,531,426
建物及び構築物（純額）	7,045,747	6,869,022
機械装置及び運搬具	2,386,804	2,259,155
減価償却累計額	△1,362,698	△1,306,594
機械装置及び運搬具（純額）	1,024,106	952,561
工具、器具及び備品	3,829,657	3,759,777
減価償却累計額	△2,894,864	△2,866,279
工具、器具及び備品（純額）	934,792	893,498
土地	5,231,060	5,230,118
建設仮勘定	12,064	12,064
有形固定資産合計	14,247,771	13,957,265
無形固定資産		
ソフトウェア	21,808	24,121
電話加入権	20,244	20,244
施設利用権	3,386	3,518
のれん	211,462	378,455
その他	3,056	3,152
無形固定資産合計	259,957	429,492
投資その他の資産		
投資有価証券	261,782	215,833
関係会社株式	240,654	248,315
出資金	2,648	2,648
破産更生債権等	36,000	36,000
長期前払費用	138,451	71,971
差入保証金	3,380,360	3,006,241
繰延税金資産	403,293	301,169
その他	40,396	40,396
貸倒引当金	△73,196	△73,196
投資その他の資産合計	4,430,390	3,849,378
固定資産合計	18,938,119	18,236,136
資産合計	36,290,083	34,224,853

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,957,879	7,324,513
短期借入金	5,500,000	4,900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,138,356	1,258,356
未払金	633,612	460,511
未払費用	322,813	269,637
未払法人税等	69,058	536,374
未払消費税等	98,693	104,326
預り金	108,938	28,679
賞与引当金	186,752	346,186
その他	96,212	102,400
流動負債合計	17,112,318	15,330,986
固定負債		
長期借入金	2,451,755	2,683,844
退職給付引当金	576,405	558,543
役員退職慰労引当金	403,520	400,090
繰延税金負債	186,432	—
負ののれん	282,711	—
その他	52,879	53,543
固定負債合計	3,953,704	3,696,020
負債合計	21,066,022	19,027,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247,330	3,247,330
資本剰余金	6,055,252	6,055,252
利益剰余金	5,908,805	5,909,612
自己株式	△103	△103
株主資本合計	15,211,284	15,212,091
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,776	△14,244
評価・換算差額等合計	12,776	△14,244
純資産合計	15,224,061	15,197,847
負債純資産合計	36,290,083	34,224,853

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	18,817,933	26,158,405
売上原価	16,011,694	22,314,061
売上総利益	2,806,238	3,844,344
販売費及び一般管理費	2,615,973	3,502,284
営業利益	190,265	342,060
営業外収益		
受取利息	452	1,913
受取配当金	3,153	3,103
不動産賃貸料	7,290	5,430
受取手数料	13,331	8,721
業務受託手数料	7,766	7,459
負ののれん償却額	—	10,668
その他	21,063	20,350
営業外収益合計	53,059	57,646
営業外費用		
支払利息	18,189	16,305
店舗改装費用	6,858	3,431
店舗閉鎖損失	10,337	14,779
持分法による投資損失	2,268	7,661
その他	13,658	17,981
営業外費用合計	51,313	60,159
経常利益	192,010	339,547
特別損失		
固定資産除却損	6,421	—
災害による損失	3,204	—
特別損失合計	9,626	—
税金等調整前四半期純利益	182,384	339,547
法人税、住民税及び事業税	51,649	59,018
法人税等調整額	57,514	123,551
法人税等合計	109,164	182,569
四半期純利益	73,220	156,977

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	182,384	339,547
減価償却費	285,673	306,415
長期前払費用償却額	9,583	6,567
のれん償却額	—	14,097
負ののれん償却額	—	△10,668
持分法による投資損益 (△は益)	2,268	7,661
支払利息	18,189	16,305
受取利息及び受取配当金	△3,606	△5,016
固定資産除売却損益 (△は益)	6,421	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△77,110	△159,433
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,541	17,862
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,590	3,430
未収入金の増減額 (△は増加)	153,652	△32,875
売上債権の増減額 (△は増加)	△179,201	△59,095
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△230,509	△746,339
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,188,955	1,633,366
その他	△157,110	40,624
小計	1,213,543	1,372,447
利息及び配当金の受取額	3,185	3,107
利息の支払額	△18,812	△15,864
法人税等の支払額	△221,741	△483,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,173	876,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△300	△600
有形固定資産の取得による支出	△69,523	△284,409
有形固定資産の売却による収入	—	161
事業譲受による支出	—	△920,000
差入保証金の差入による支出	△14,401	△55,598
差入保証金の回収による収入	34,330	70,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,894	△1,189,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△203,100	△352,089
配当金の支払額	△157,785	△157,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,114	90,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,012	897
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	966,405	△222,553
現金及び現金同等物の期首残高	1,466,003	3,366,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,432,408	3,144,192

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

当連結グループは同一セグメントに属する酒類等販売事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

当連結グループは、国内に所在しているため、所在地別の売上高及び営業利益についての記載は行っておりません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高がないため記載は行っておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。